

2020年6月1日

日本イギリス哲学会 会員各位

日本イギリス哲学会会長 柘植尚則

「第44回研究大会および今後の学会活動について（ご報告とお願い）」

新型コロナウイルス感染症の流行で、対応に苦慮されていることと拝察します。

さて、「延期（または中止）」の扱いとなっておりました第44回研究大会（2020年3月）について、理事会にて協議いたしました。

協議の結果、次のように決定されましたので、ご報告申し上げます。

（1）個人研究報告：報告者が希望する場合は、報告のスライドや原稿を学会ホームページに掲載し、そのことをもって、報告を実施したものとします。

（2）セッション：世話人および提題者が希望する場合は、提題のスライドや原稿を学会ホームページに掲載し、そのことをもって、セッションを実施したものとします。

（3）シンポジウム：第45回研究大会（2021年3月）のシンポジウムとして実施する。ただし、現状では、会場での実施は困難となることも予想されるため、企画委員会・理事会にて、代替実施のあり方について早急に検討する。（司会者・提題者の内諾済み）

また、今後の学会活動についても、流行の終息の見通しが立たない場合、理事会で協議し、中止・延期・代替実施などの措置を講じる予定です。

（1）部会研究例会報告：7月の研究例会については、中止とする。12月の研究例会については、例年どおり、報告を募集する。ただし、状況によっては、中止、延期、または代替実施とする。

（2）第45回研究大会：個人研究報告・セッションについては、例年どおり、募集を行う。ただし、会場での開催が困難と判断される場合には、企画委員会・理事会にて、代替実施のあり方について検討する。

会員の皆様におかれましては、事情をご賢察のうえ、ご理解とご協力を賜りますよう、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

以上